

「みやぎ蔵王ブランド推進事業」取組状況について

I 目的

仙南地域の「食と観光のブランド化」を目的として、関係機関の連携のもとに、「みやぎ蔵王」を活用した産業振興と広域観光推進を図る。

II これまでの取組内容（4月～10月）

1 みやぎ観光振興会議仙南圏域会議・みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議開催事業

（1）圏域会議

- ・会議を3回開催（6/22, 7/17, 9/2）
- ・検討内容：仙南圏域の観光施策の方向性及び取組，みやぎ蔵王三十六景を活用した地域振興・産業振興，「仙南地域広域観光推進プラン」に係る県及び市町事業の実施状況等

（2）ワーキンググループ

- ・委員有志によるWGを2回開催（10/8, 11/11）
- ・検討内容：仙南地域への誘客促進に向けた各種取組の企画・検討（観光モデルプランの造成等）

2 「食」のブランド化事業 重点

（1）仙南地域の「郷土料理」（おくずかけ）伝承等事業

①季節毎の地元食材を使ったおくずかけの飲食店での提供

- ・「季節のおくずかけ・夏」として、8月の1か月間、夏野菜を使ったおくずかけを6店舗で提供した。
- ・本取組は8月13日のミヤギテレビ「OH！バンドス」の「みやぎ・ふくしまバンドス Chu！」のコーナーで紹介された。



やまぶき亭（白石市）の「冷たいおくずかけ」



桜坂（丸森町）の「夏野菜のおくずかけ」

②おくずかけのPR

- ・秋彼岸の時期（9/17～9/22）に、国営みちのく杜の湖畔公園南地区の古民家「釜房の家」で、おくずかけを紹介するパネルの展示とPRチラシの配架を行った。



③おくずかけのPRとおふるまい

・国営みちのく杜の湖畔公園との共催により、おくずかけのPRとおふるまいを実施した。

イ. おくずかけのPR

【開催日】令和2年10月31日（土）

【場 所】国営みちのく杜の湖畔公園 南地区 釜房の家

【内 容】おくずかけPRチラシの配布，おくずかけ動画の放映，11/1のおふるまいへの参加誘導

ロ. おくずかけのおふるまい

【開催日】令和2年11月1日（日）

【場 所】国営みちのく杜の湖畔公園

【参加者】公園が実施する野菜収穫体験の参加者 約100名

【内 容】「みやぎの食を伝える会」の小畑美枝子氏を講師に，おくずかけの紹介と無料のおふるまいを実施



(2) 仙南スイーツ振興事業

・道の駅村田と連携し，仙南地域の菓子の販売会を開催する方向で調整を行った。

(3) 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業（※詳細は資料5-3参照）

①地域の逸品の販路拡大

・管内の観光施設や道の駅等への「地域の逸品コーナー」の設置に向けて検討中。

②県庁1階地場産品展示即売会における地域の逸品のPR及び販売（10/5～10/9）

・仙南地域地場産業振興協議会の出店に併せて，地域の逸品の販売やパンフレットの配布等を行った。

③仙南地域の食「みやぎ蔵王」ブランド推進セミナーの開催

- ・コロナ禍における地域の逸品の販売促進や、事業者のブランド力向上を目的として、オンライン販売をテーマとした事業者向けセミナーを開催した。

【開催日】令和2年9月25日（金）

【場 所】宮城県大河原合同庁舎 4階 大会議室

【参加者】地域の逸品製造販売事業者・関係者等 32名

【内 容】第1部：オンライン販売等に関する事例発表、大河原地方振興事務所からの情報提供

第2部：参加者による情報交換会

④SNSを活用した広報による地域の逸品の知名度向上

- ・事務所ブログ「見てイガイん！仙南の魅力」及び「みやぎ蔵王温泉郷 Facebook」に地域の逸品を紹介する記事を各11件掲載した。

3 管内ひな祭りの一体的PRによる集客・周遊促進事業

- ・昨年度の管内ひな祭りの一体的PRの実施効果（来場者数等）について取りまとめを行い、市町や実施施設にフィードバックした。
- ・昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一部施設でひな祭りの中止や開催期間の短縮があったため、来場者数は前年比60%にとどまった。

4 村田ダム活用による地域振興事業 新規

- ・地域の魅力PRと集客増加を目的に、村田町のフォトコンテストと連携し、村田ダムをはじめとした村田町内の観光スポットを巡って写真撮影や散策、買い物等を楽しむ「村田ダム&蔵の町フォトツアー」を開催した。

【開催日】令和2年10月24日（土）

【場 所】村田町内（村田ダム、蔵の町、村田町中央公民館、道の駅村田）

【主 催】宮城県大河原地方振興事務所、村田町観光物産協会、村田町

【後 援】道の駅村田、村田町商工会

【参加者】31名

【講 師】写真家 熊谷 毅氏

【内 容】村田ダム・蔵の町での写真撮影と散策、村田ダムカードの配布、中央公民館での講習（写真撮影のポイント、インスタグラムフォロー方法、村田町フォトコンテストの紹介）、道の駅村田でのツアー参加者限定里芋詰め放題企画と買い物



5 広報・展示事業

- ・事務所ホームページ（16件）、ブログ「見てイガイン！仙南の魅力」（51件）、みやぎ蔵王温泉郷 Facebook（22件）で、管内の観光や食に関する情報発信を行った。
- ・「みやぎ蔵王三十六景」のPRの一環として、村田ダムカードと併せて川原子ダムカードを作成・配布した。
- ・県際連携として、隣接する福島県北・相双地域、山形県置賜地域と観光パンフレット等の相互配架を行った。

6 仙南地域・特定コンテンツ発信強化事業 新規

- ・主要ターゲットをシニア層に位置付け、シニア層が関心を持ちそうな仙南地域ならではの特定コンテンツを一体的にPRすることにより、通年での集客と広域周遊の促進を目指すものとして、委託事業で実施（委託事業者：株式会社GM7）。
- ・周遊テーマを5つ設定し、委託事業者と連携して、管内市町から各周遊テーマに沿った特定コンテンツを収集し、テーマ毎のPRリーフレットを作成中。

【周遊テーマ】

- ①学び：見学、体験といった学びの要素が大きいコンテンツ
- ②グルメ：ここでしか味わえない、こだわりの食材など
- ③健康：パワースポットや温泉など、健康・リフレッシュ要素が多いコンテンツ
- ④NO密空間：3密空間を避け、ゆっくりと過ごせるコンテンツ
- ⑤名スポット：仙南でしか体験できないコンテンツ

7 その他（仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業）

（1）「県南ご当地キャラクターを探せ！2020」

- ・例年、夏休み期間（7～9月）に開催していた謎解き型スタンプラリーイベントについて、新型コロナ対策及びスキー場への集客促進のため、今年度は冬期間（12月～2月）の開催に変更。
- ・県南地域のさらなる周遊促進につながるよう、新たな賞品（県南満喫コース）を追加。

（2）東北デスティネーションキャンペーンに向けた取組

- ・2021年東北6県DCに向け、県南エリアの着地型の観光マップを作成中。

Ⅲ 今後の取組予定（11月～3月）

1 みやぎ観光振興会議仙南圏域会議・みやぎ蔵王三十六景ブランド創造会議開催事業

- ・圏域会議を2回開催（11/20、1月）
- ・WGを2回程度開催

2 「食」のブランド化事業

（1）仙南地域の「郷土料理」（おくずかけ）伝承等事業

- ・季節の地元食材を使ったおくずかけの飲食店での提供として、「季節のおくずかけ・秋冬」企画の実施（11月下旬～2月末実施予定）
- ・おくずかけ提供店の拡大
- ・おくずかけPRグッズ（のぼり旗等）の作成と提供店での掲示

(2) 仙南スイーツ振興事業

- ・道の駅村田との共催により、仙南地域の菓子の販売会「せんなん菓子マルシェ」を2回（12/5～12/6, 1/30～1/31）開催
- ・事務所HPへの管内菓子店情報の掲載
- ・管内菓子店のPRリーフレットの作成

(3) 「みやぎ蔵王三十六景地域の逸品」普及促進事業

- ・PRリーフレットの作成
- ・道の駅や直売所等へのPRコーナーの設置
- ・SNSを活用した広報による知名度向上

3 管内ひな祭りの一体的PRによる集客・周遊促進事業

- ・「ひなの郷せんなん」のキャッチコピーのもと、近隣の菓子店とコラボし、管内ひな祭りを一体的に紹介するポスター・リーフレットを作成

4 村田ダム活用による地域振興事業

- ・事業効果の検証（参加者の属性や感想等）

5 広報・展示事業

- ・事務所ホームページやブログ等による管内観光情報の発信
- ・県際連携として、福島県北・相双地域、山形県置賜地域との相互観光PR
- ・みやぎ蔵王三十六景のPR（表示看板の更新等）

6 仙南地域・特定コンテンツ発信強化事業

- ・周遊テーマ毎の特定コンテンツPRリーフレットの作成と、管内外の観光施設等への配架
- ・特定コンテンツの事務所ホームページへの掲載
- ・特定コンテンツを周遊するツアーの企画案の作成と、旅行会社への売り込み
- ・事業効果の測定（シニア層へのアンケート調査の実施）

7 その他（仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会県南地域部会事業）

(1) 「県南ご当地キャラクターを探せ！2020」

- ・スタンプラリーイベントを実施（12月～2月）
- ・事業効果の測定（参加者数や参加者の属性、感想等）

(2) 東北デスティネーションキャンペーンに向けた取組

- ・県南エリア観光マップの作成と、管内外の観光施設等への配架
- ・県南エリア周遊バスツアーの造成（仙南地域・特定コンテンツ発信強化事業と連携）
- ・誘客企画の検討